

「さが市議会だより」

第71号

さが市議会だより

「題字」佐賀北高等学校3年
井上りこさん



川上峡春まつり(令和3年3月13日~5月23日まで)

令和3年3月定例会

- 2 | **令和3年度予算を可決**
 - 議案・審査結果一覧
 - 4常任委員会報告
- 10 | **議会全会一致で決議**
- 16 | **「市政 ここが聞きたい」**
 - 一般質問に28議員が登壇
- 23 | **議会報告会のお知らせ**



佐賀市議会-HP

3月定例会は1日に開会し、23日に閉会しました。当初予算9件、補正予算11件（当初予算の補正2件含む）、条例7件（うち委員会提出1件）、一般9件、人事29件の計65議案を可決・承認・同意しました。

令和3年度の一般会計当初予算は前年度に比べ7億円減の1,013億円となりました。

令和3年度の重点政策

コロナの時代にあって、改めて市民にとって暮らしやすい環境を提供できるように、チーム一丸となって様々な課題に取り組み、3本の柱でまちづくりを進めていく。

1. 安全・安心
2. 経済活性化
3. 子育て・教育・スポーツ

令和3年度の予算

背景

- ◆新型コロナウイルス感染症の影響により地方税等が大幅に減収となる中、防災・減災、国土強靭化や地方創生の推進、地域社会の維持・再生等の重要課題に取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことができるよう、地方一般財源総額について、前年度と同水準を確保することとされている。
- ◆経済状況については、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にある。国の各種経済対策や本市の追加支援策もあいまって、幾分持ち直しの動きが見られるものの、経済の水準はコロナ前を下回った状態にとどまり、地域経済の回復はいまだ途上にある。そのため、行政として市民の生活をいかに守っていくのか、今、行政に何が求められているのかを確実に受け止め、市民生活や企業活動を支えるための事業を展開する必要があると考える。
- ◆健全な財政運営に配慮しつつ、限られた財源を最大限に活用し、地域経済の好循環の確立につながる取り組みを積極的に進めるとともに、市民が幸せを実感できるまちづくりに重点を置いて予算編成を講じている。

令和3年度の予算総額

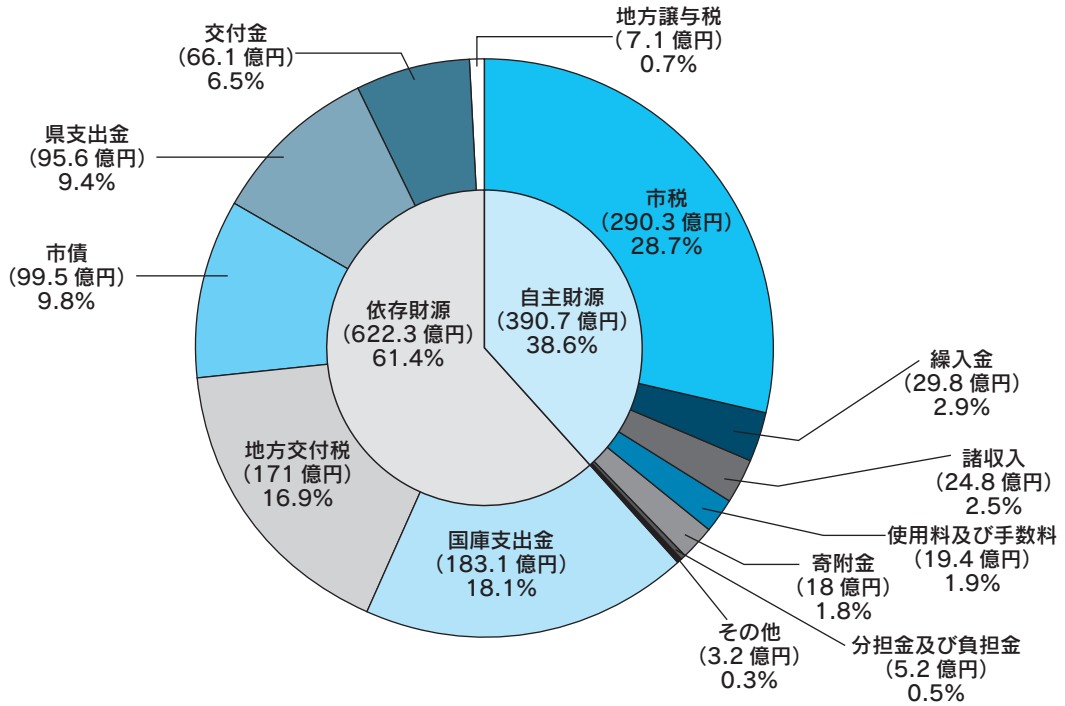
会 計		予算額	増 減(前年度比)
一般会計		1,013億円	△7億円 (△0.7%)
特別会計	国民健康保険	264億2,300万円	△4億5,500万円 (△1.7%)
	国民健康保険診療所	1億1,200万円	△100万円 (△0.9%)
	後期高齢者医療	34億4,500万円	△2,300万円 (△0.7%)
企業会計	自動車運送事業 (市営バス)	12億2,000万円	△7,100万円 (△5.5%)
	水道事業	68億3,900万円	△2億4,300万円 (△3.4%)
	工業用水道事業	1,800万円	△100万円 (△5.3%)
	下水道事業	178億4,900万円	+28億5,500万円 (+19.0%)
	富士大和温泉病院事業	17億9,500万円	+5,800万円 (+3.3%)

※ 端数処理のため、増減率が一致しない場合があります。

◎令和3年度当初予算一般会計の状況

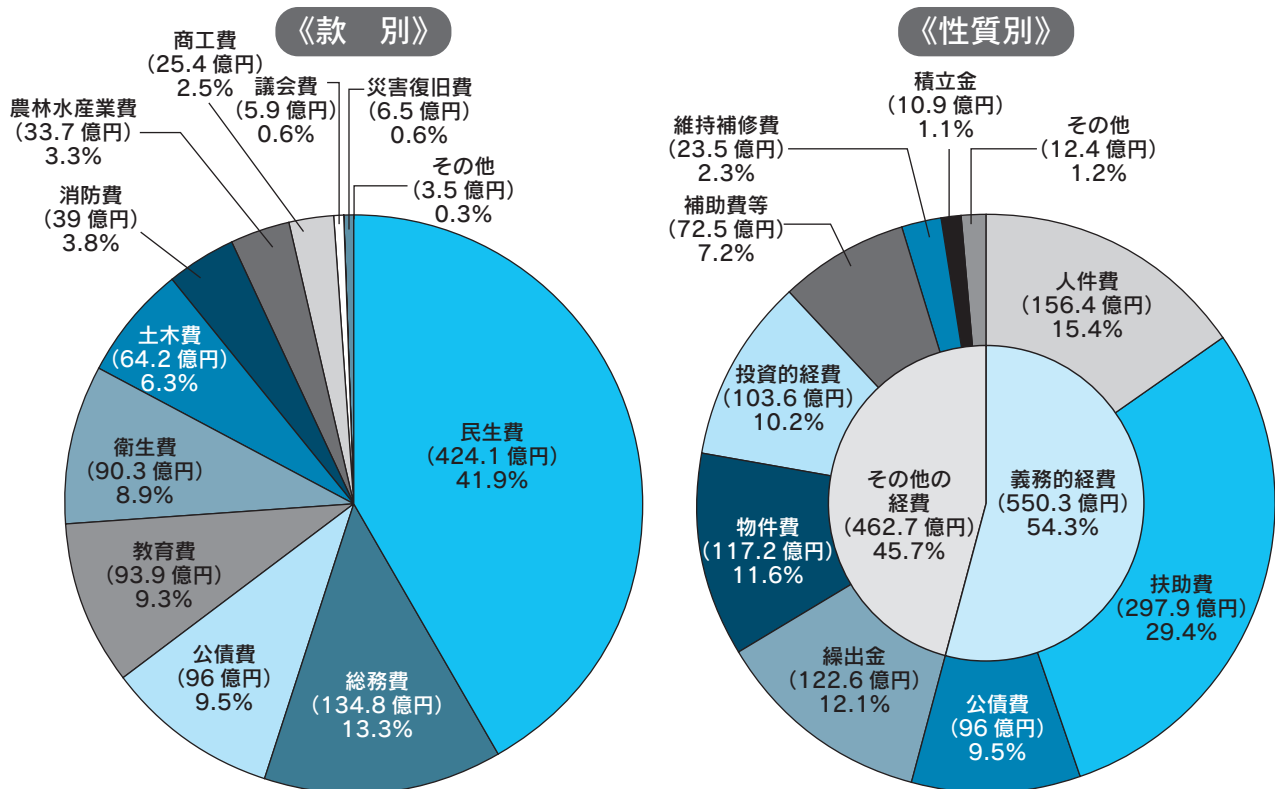
【歳入】

〔歳入総額 1,013億円〕



【歳出】

〔歳出総額 1,013億円〕



※端数処理のため構成比が一致しない場合があります。

令和3年度当初予算主要事業

★は新規事業

総務部

☆本庁舎立体駐車場整備事業「財産活用課」
4億4,646万円

・本庁舎立体駐車場の整備に要する経費

☆多文化共生推進経費「国際課」

248万円

・在在外国人との共生の推進に要する経費

☆諸富支所庁舎等移転整備事業「財産活用課」

4億5,492万円

・諸富支所庁舎の産業振興会館への移転整備に要する経費

(令和3～5年度継続費)

・継続費総額 11億9,928万円

☆川副支所庁舎整備事業「財産活用課」

3億8,172万円

・川副支所庁舎の整備に要する経費

(令和3～5年度継続費)

・継続費総額 9億7,155万円

☆佐賀中部広域連合消防負担金「消防防災課」

31億4,500万円

☆ハザードマップ作成等事業「消防防災課」

237万円

・県の浸水想定区域見直しに伴う高潮ハザ



ードマップの更新および配布に要する経費

★避難確保計画推進事業「消防防災課」

592万円

・要配慮者利用施設の管理者等が行う避難確保計画の作成支援等に要する経費

企画調整部

☆水道事業会計関係経費「企画政策課」

2,961万円

・水道事業会計に対する一般会計からの繰出金

☆AI・ロボティクス活用推進経費「企画政策課」

1,915万円

・市民サービスの向上および地域課題解決等に資するAIやICT技術利活用の推進等に要する経費

☆ふるさと納税推進事業「企画政策課」

9億4,642万円

・ふるさと納税の促進に向けた各種広報および寄附者へのお礼品の発送等に要する経費

☆生活バス路線等運行対策経費「企画政策課」

3億1,894万円

・生活バス路線および都市間バス路線の確保のための交通局等に対する繰出金・補助金等

助金等

☆北部地域交通運行経費「企画政策課」

7,047万円

・北部地域における交通対策として「ミニ二ティバス等の運行に対する補助経費

☆三重津海軍所跡ガイダンス施設整備事業「歴史・世界遺産課」

7億2,794万円

・三重津海軍所跡のガイダンス施設整備のための工事および展示物製作に要する経費

(令和元～3年度継続費)

・継続費総額 9億9,036万円

☆バイオマス産業都市構築推進経費「バイオマス産業推進課」

554万円

・「バイオマス産業都市さが」の取り組みの推進のため、二酸化炭素活用に関する検討や企業誘致等に要する経費

☆藻類産業推進関係経費「バイオマス産業推進課」

5,544万円

・「さが藻類バイオマス協議会」の運営および「さが藻類産業研究開発センター」における藻類培養等の研究開発に要する経費

☆テレワーク推進事業「工業振興課」

507万円

・中心市街地における遊休不動産を活用した「機能の複合化」(テレワーク、サテライトオフィスの整備等)に対する補助経費

佐賀駅周辺整備構想推進室

☆佐賀駅周辺整備事業「佐賀駅周辺整備構想推進室」

1億9,163万円

・南口駅前広場の再整備、市道三溝線沿線パークレットパークの整備等に要する経費



経済部

☆街なか出店伴走支援事業「商業振興課」

390万円

・中心市街地の空き店舗等を活用する新規出店者を対象として実施する経営アドバイス会等の取り組み支援に対する補助経費

☆中心市街地機能複合化推進事業「商業振興課」

507万円

・中心市街地における遊休不動産を活用した「機能の複合化」(テレワーク、サテライトオフィスの整備等)に対する補助経費

☆テレワーク推進事業「工業振興課」

507万円

・中心市街地における遊休不動産を活用した「機能の複合化」(テレワーク、サテライトオフィスの整備等)に対する補助経費

800万円

・市内中小企業等のテレワーク導入費用に
対する補助経費およびテレワーク導入に
関する相談支援員の派遣に要する経費

☆産業人材拠点推進事業「工業振興課」

1,072万円

・ICTを活用した産業人材育成のための
マイクロソフトAI&イノベーションセ
ンター佐賀におけるセミナーやイベント
等の開催、施設の管理運営に要する経費

☆創業機運醸成事業「工業振興課」

400万円

・都市圏からの人の流れを創出するための
UIJターン創業に向けたビジネスプラ
ンコンテスト開催に要する経費

★ニューノーマル型企業誘致活動推進経費

418万円

・佐賀大和ICC工業団地の分譲開始に向
けた、コロナ禍における非接触形式の
ニューノーマル型企業誘致活動に要する
経費

☆リビングシフト型企業誘致推進事業「工
業振興課」

846万円

・都市圏からの人の流れを創出するための
リビングシフト型企業誘致（市内でテレ
ワークを行う都市圏企業を誘致するため
の滞在費等の補助）に要する経費

☆工業用水道事業会計繰出金「工業振興
課」

910万円

・工業用水道事業会計に対する一般会計か
らの繰出金

☆佐賀城下栄の国まつり開催事業「観光振
興課」

1,100万円

・佐賀城下栄の国まつり（第50回記念）の
開催に要する経費

★昇開橋耐震診断事業費負担金「観光振興
課」

333万円

・公益財団法人筑後川
昇開橋観光財団が実
施する昇開橋の耐震
診断事業に対する負
担金



☆熱気球大会開催事業「観光振興課」

1億6,209万円

・熱気球大会の開催に要する経費

☆中央大通り再生計画推進事業「商業振興
課」

1,230万円

・中央大通りの賑わい創出に効果的な土地
利用の方策および旧TOJIN茶屋跡地
の活用方針の検討・構築等に要する経費

農林水産部

☆有害鳥獣駆除対策事業「農業振興課」

2,000万円

・農作物被害防止のための有害鳥獣駆除お
よび防除対策への支援等に要する経費

☆多面的機能支払事業「農村環境課」

6億7,294万円

・地域共同による農村環境の保全活動およ
び長寿命化対策への補助経費

☆ナガエツルノゲイトウ等防除対策経費

3,000万円

・水路等において大規模に繁茂する特定外
来生物（ナガエツルノゲイトウ、ブラジ
ルルドメグサ）の除去・防除に要する経
費

☆農業水路等長寿命化・防災減災事業「農
村環境課」

3,114万円

・防災重点ため池に係る大雨時の決壊被害
を未然に防ぐための廃止工事およびハ
ザードマップの作成等に要する経費

☆森林経営管理事業「森林整備課」

5,617万円

・森林経営管理制度に基づく森林整備や森
林整備を促進するための人材育成、木材
の利用促進や普及啓発に要する経費

☆漁港施設ストックマネジメント事業「水
産振興課」

8,861万円

・佐嘉漁港における航路の機能回復のため
の堆積土砂のしゅんせつ等に要する経費

☆農地・農業用施設災害復旧事業「農村環
境課」

1億7,624万円

・令和2年7月豪雨等に係る農地・農業用
施設災害復旧経費（過年災）

建設部

☆建築物耐震対策事業「建築指導課」

4億1,527万円

・住宅等の耐震診断、耐震補強設計および
耐震改修工事ならびにブロック塀の撤去
等に対する補助経費

☆川副中央幹線外道路整備事業「道路整備
課」

6億9,500万円

・川副中央幹線外4路線の整備経費

☆佐賀コロニー跡地開発関連道路・水路整
備事業「道路整備課・河川砂防課」

1億1,609万円

・佐賀コロニー跡地に県が開発する産業団
地へのアクセス道路および排水路整備に
要する経費

☆三溝線道路整備・歩道高質化整備・無電
柱化整備事業「道路整備課」

1億8,800万円

・三溝線の道路整備、歩道の高質化整備お
よび無電柱化整備に要する経費

☆新馬場通り整備事業「道路整備課」

3,430万円

・松原神社参道である新馬場通りの高質化
のための舗装等の整備に要する経費

★緊急浚渫推進事業「河川砂防課」

1,044万円

・維持管理上重要な河川区間における堆積
土の除去・処分、樹木の伐採等に要する
経費

☆地藏川改修事業「河川砂防課」

5,750万円

・河川排水機能向上および浸水被害軽減の

※1 UIJターン…大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称のこと。Uターンは出身地に戻る、Iターンは出身地以外
の地方へ移住、Jターンは出身地近くの地方都市に移住を指す。

ための改修経費

★開発許可制度検討事務経費「建築指導課」

616万円

・都市計画法改正に伴い、50戸連たん制度等の適用区域から浸水ハザードエリアを除外するための調査に要する経費

☆八戸天祐線外街路整備事業「道路整備課」

2億9,055万円

・八戸天祐線外2路線の整備経費および街路整備（城内線外）に伴う県営事業負担金

☆市営住宅ストック総合改善事業「建築住宅課」

3億5,436万円

・市営住宅における居住性および安全性の向上のための住戸改善、外壁改修等の整備に要する経費

環境部

☆アライグマ等対策経費「環境政策課」

485万円

・生息域を拡大している特定外来種であるアライグマの捕獲に要する経費



☆下水道事業会計繰出金「環境政策課」

28億4,536万円

・下水道事業会計に対する一般会計からの繰出金

★清掃工場電力活用調査経費「循環型社会推進課」

1,170万円

・固定価格買取制度終了後の清掃工場における電力活用方策の調査検討に要する経費

★最終処分場埋立工区整備事業「循環型社会推進課」

2,700万円

・一般廃棄物最終処分場第2工区の施設整備基本構想策定に要する経費

★休止最終処分場廃止検討経費「循環型社会推進課」

425万円

・統廃合により休止した最終処分場（クリーンセンター大和、富士クリーンセンター、川副・東与賀清掃センター）の早期かつ適正廃止に向けた調査に要する経費

☆ごみの堆肥化等リサイクル促進事業「循環型社会推進課」

908万円

・家庭用電動生ごみ処理機等の購入に対する補助および体験型講座等を通じた生ごみの堆肥化等のサポート事業に要する経費

市民生活部

☆個人番号カード交付関連事務経費「市民生活課」

1億5,844万円

・「安全・安心で利便性の高いデジタル社会」の基盤となる個人番号カードの取得促進に要する経費

☆火葬場施設等改修事業「市民生活課」

761万円

・つくし斎場および川副葬祭公園の耐震診断に要する経費

保健福祉部

☆国民健康保険特別会計繰出金「保険年金課」

22億6,193万円

・国民健康保険特別会計に対する一般会計からの繰出金

☆国民健康保険特別会計「保険年金課」

(264億2,298万円)

☆国民健康保険診療所特別会計繰出金「三瀬診療所」

2,450万円

・国民健康保険診療所特別会計に対する一般会計からの繰出金

☆国民健康保険診療所特別会計「三瀬診療所」

(1億1,179万円)

☆障害者自立支援給付事業・障害児通所支援事業「障がい福祉課」

74億3,907万円

・障がい者の介護・訓練サービス、障がい児のデイサービス、自立支援医療等の給付経費

☆介護用品支給事業「高齢福祉課」

1,723万円

・要介護3～5の認定を受けている在宅高齢者への介護用品（紙おむつ等）の支給に要する経費



☆佐賀中部広域連合介護保険負担金「高齢福祉課」

32億5,175万円

・佐賀中部広域連合が支払う介護給付費に対する負担金

☆データ活用による介護予防推進事業「高齢福祉課」

1,681万円

・高齢者の医療・介護・健診データや高齢者実態調査によるフレイル状態のデータ分析および介護予防等の個別・集団支援に要する経費

☆後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金「保険年金課」

26億3,826万円

・後期高齢者医療広域連合が支払う療養給付費に対する負担金

☆後期高齢者医療特別会計繰出金「保険年金課」

8億6,006万円

・後期高齢者医療特別会計に対する一般会計からの繰出金

☆後期高齢者医療特別会計「保険年金課」

(34億4,526万円)

☆生活保護費「生活福祉課」

53億7,500万円

・被保護世帯に対する扶助費

☆富士大和温泉病院事業会計繰出金「健康づくり課」

3億2,750万円

・富士大和温泉病院事業会計に対する一般会計からの繰出金

★食育推進基本計画策定経費「健康づくり課」

121万円

※2 フレイル状態…加齢により心身が老い衰えた状態のこと。

・第3次食育推進基本計画策定に要する経費



子育て支援部

☆児童クラブ運営経費「子育て総務課」

4億6,790万円

・専用館および余裕教室等を活用した児童クラブの運営および民間事業者への運営委託拡充に要する経費

☆発達障がい児支援事業「子育て総務課」

451万円

・発達障がいと思われる子どもまたは発達障がい児に対する支援に要する経費

☆子ども・子育て支援関連経費「保育幼稚園課」

100億5,072万円

・子どものための教育・保育給付、子育てのための施設等利用費、子ども・子育て支援事業等に要する経費

☆私立保育園等整備助成経費「保育幼稚園課」

3億7,760万円

・教育・保育施設の増改築等を実施する事業者に対する整備費用の補助経費

・私立保育園等整備事業費補助金
〔令和3年度から令和4年度までの債務負担行為限度額 2億8,721万円〕

☆公立認定こども園整備関連経費「保育幼稚園課・道路整備課」

1億4,651万円

・公立認定こども園およびアクセス道路の整備に要する経費

☆子ども医療費助成事業（中学生拡充）「こども家庭課」

1,949万円

・中学生に係る医療費助成拡充の実施に要する経費

地域振興部

☆過疎地域活性化対策経費「地域政策課」

728万円

・北部中山間地域における持続可能な地域づくりに向けた小さな拠点形成等に係る検討および自主的な地域活性化への取り組みに対する支援に要する経費

☆地域コミュニティ推進事業「協働推進課」

5,867万円

・まちづくり協議会の設立支援および活動費助成等に要する経費

☆公民館施設整備事業「公民館支援課」

3億6,510万円

・公民館（6館）の改築に要する経費

☆スポーツ佐賀2021開催事業「スポーツ振興課」

1,400万円

・プロスポーツチームと連携して実施するスポーツ体験イベントの開催に要する経費

☆佐賀バルーンズ連携事業・サガントス交流宣言事業「スポーツ振興課」

4,128万円

・佐賀バルーンズおよびサガン鳥栖との連携・交流に要する経費

☆富士しやくなげ湖ポート・カヌー競技施設整備事業「スポーツ振興課」

3億7,764万円

・第78回国民スポーツ大会・第23回全国障害者スポーツ大会に向けた富士しやくなげ湖におけるポート・カヌー競技施設の整備に要する経費

☆国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進事業費「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会推進課」

2,249万円

・第78回国民スポーツ大会・第23回全国障害者スポーツ大会の準備に要する経費

教育部

☆SAGAサンライズパーク関連文化会館整備事業「文化振興課」

1億1,530万円

・県が実施しているSAGAサンライズパーク整備に合わせて実施する文化会館の周辺整備（ペデストリアンデッキ等）に要する経費

〔令和3年度から令和4年度までの債務負担行為限度額 2億8,826万円〕

☆学校ICT教育関係経費「学校教育課」

4億3,380万円

・小中学校におけるICT教育環境の維持管理に要する経費

☆北川副小学校仮設校舎設置経費「教育総務課」

2,088万円

・教室不足解消のための仮設校舎設置に要する経費

☆兵庫小学校校舎増築事業「教育総務課」

2億3,948万円

・教室不足解消のための校舎増築に要する経費

☆学校大規模改造・改築事業「教育総務課」

6億2,148万円

・校舎等の大規模改造（小学校2校）および改築（中学校1校）に要する経費

☆東名遺跡・埋蔵文化財センター整備事業「文化振興課」

6,011万円

・東名遺跡ガイダンス施設および埋蔵文化財センターの整備に係る用地取得に要する経費

行政委員会

☆衆議院議員選挙執行費「選挙管理委員会事務局」

1億2,469万円

・任期満了に伴う衆議院議員総選挙および最高裁判所裁判官国民審査に要する経費

☆市長および市議会議員選挙執行費「選挙管理委員会事務局」

2億1,256万円

・任期満了に伴う市長および市議会議員選挙に要する経費



※3 ペデストリアンデッキ…建物と建物を立体的に結ぶ上空通路で、大型の歩行者専用通路を指す。

「令和2年度一般会計補正予算・条例等」

令和2年度一般会計補正予算

今回の補正予算は、緊急な措置を要する事業の経費のほか、決算見込み等による補正措置を講じています。

今回の補正予算の総額は、約15億5,700万円の増額で補正後の予算総額は、約1,332億1,800万円となり、前年度同期に比べ27・1%の増となります。

◎一般会計補正予算の主なもの

ふるさと納税推進事業

7,174万円

ふるさと納税の寄附者への返礼品の発送等に要する経費

企業立地支援事業

4,703万円

企業立地に伴う補助金

農業用機械整備支援事業（産地生産基盤パワーアップ事業）

1億6,458万円

低コスト耐候性ハウスを整備する佐賀県農業協同組合に

対する補助経費

〔繰越明許費〕

水産業強化対策整備事業

6億2,683万円

ノリ共同加工施設を整備する佐賀県有明海漁業協同組合に対する補助経費

〔繰越明許費〕

予防接種経費

7,322万円

高齢者インフルエンザ、日本脳炎、HPVワクチン等の各種予防接種に要する経費

介護給付費・訓練等給付費

4億3,000万円

障がい者の介護・訓練サービスに対する給付費

障害児通所支援事業

1億1,800万円

障がい児への日常生活の基本的動作の指導、集団生活への適応訓練等を行う通所施設に対する給付費

子どものための教育・保育給付費

1億7,262万円

公定価格の単価改定および

各種加算の適用等に伴う給付経費

条例等の主なもの

国民健康保険条例の改正

国民健康保険事業の運営主体である佐賀県が提示した標準保険税率に準じ、佐賀市国民健康保険税の税率の改定等を行うもの。



体育施設条例の改正

これまでの久保田グラウンドが県道の拡幅により機能が制限されるため、近隣の補助グラウンドを新たな「佐賀市立久保田グラウンド」として改修し、供用を開始することに伴い、施設の位置および使用料を定めるもの。

賛否が分かれた議案等の採決結果

賛成：○ 反対：● 退席：退 欠席：欠

会派等	自民市政会				自民さが				自民政新会			公明党		社会市民クラブ		ネットワーク賛		政研		共未市光																
氏名	山口弘展	平原嘉徳	黒田利人	中野茂康	重田音彦	重松徹	久米勝博	江頭弘美	川副龍之介	嘉村弘和	松永幹哉	宮崎健	西岡真一	福井章司	堤正之	武藤恭博	永渕史孝	村岡卓	池田正弘	野中宣明	中村宏志	松永憲明	野中康弘	富永明美	山下伸二	山田誠一郎	久米勝也	西岡義広	千綿正明	白倉和子	中山重俊	御厨洋行	山下明子	川崎直幸		
第1号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第2号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

政研…政研会 さ…さが未来 共…日本共産党 未…市政未来 市…市民共同 光…光明市政
 (川原田裕明議員は議長のため、採決に加わりません。)

議案審議結果一覧

議案番号	議案名	議案名	金額	審査結果
令和3年度予算	1	一般会計予算	総額 1,013 億円	賛成多数で可決
	2	国民健康保険特別会計予算	総額 264 億 2,300 万円	
	3	国民健康保険診療所特別会計予算	総額 1 億 1,200 万円	全会一致で可決
	4	後期高齢者医療特別会計予算	総額 34 億 4,500 万円	賛成多数で可決
	5	自動車運送事業会計予算（市営バス）	総額 12 億 2,000 万円	
	6	水道事業会計予算	総額 68 億 3,900 万円	
	7	工業用水道事業会計予算	総額 1,800 万円	
	8	下水道事業会計予算	総額 178 億 4,900 万円	
	9	富士大和温泉病院事業会計予算	総額 17 億 9,500 万円	
令和2年度補正予算	※ 10	一般会計補正予算（第 12 号）	補正額 6 億 273 万円	全会一致で可決
	※ 11	国民健康保険特別会計補正予算（第 6 号）	補正額 △ 6,122 万円	
	※ 12	国民健康保険診療所特別会計補正予算（第 2 号）		
	※ 13	後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）	補正額 △ 7,677 万円	
	※ 14	自動車運送事業会計補正予算（第 2 号）		
	※ 15	水道事業会計補正予算（第 2 号）		
	※ 16	下水道事業会計補正予算（第 2 号）		
	※ 17	富士大和温泉病院事業会計補正予算（第 3 号）		
条例	18	手数料条例の改正		
	19	市税条例の改正		
	20	国民健康保険条例の改正		
	21	国民健康保険税条例の改正		
	22	子どもの医療費の助成に関する条例の改正		
	23	体育施設条例の改正		
一般	24	佐賀県市町総合事務組合規約の変更		
	25	佐賀市星空学習館の指定管理者の指定	一般社団法人佐賀天文協会	
	26	市道路線の認定	城北団地北 1 号線ほか 9 路線	
	27	佐賀駅南口広場整備工事請負契約の締結	株式会社富士建設	
	28	東与賀小学校校舎大規模改造（建築）工事請負契約の一部変更		
	29	財産の取得（教育用情報機器）		
	30	財産の取得（中学校教師用指導書）		
専決処分	31	専決処分（令和 2 年度佐賀市一般会計補正予算（第 11 号））		全会一致で承認
令和2年度補正予算	※ 32	一般会計補正予算（第 13 号）	補正額 9 億 5,373 万円	全会一致で可決
令和3年度補正予算	33	一般会計補正予算（第 1 号）	補正額 2 億 6,477 万円	
	34	一般会計補正予算（第 2 号）	補正額 17 億 5,586 万円	
一般	35	財産の処分		
人事	36	公平委員会委員の選任	田中 恵子	全会一致で同意
	37～60	農業委員会委員の任命	24 名	
委員会提出議案	61	佐賀市議会会議規則の改正		全会一致で可決

※は 3 月 3 日に議決、第 35 号と第 61 号は 3 月 23 日、その他は 3 月 11 日に議決

新型コロナウイルス感染症に係る差別や偏見、誹謗中傷の根絶に関する決議

本市議会において、次の内容の決議を全会一致で可決しました。

新型コロナウイルスは、2020年1月に日本で最初の感染者が確認され、その後、全国的に感染が拡大し、佐賀県においても11月以降急増した。

2021年に入り、1月8日には1日あたりの感染者数が全国で7,863人と過去最高となり、国による2度目の緊急事態宣言が発出され、その後、全国的には徐々に感染者は減少傾向にあるが、本市においては、2月以降に複数のクラスターの発生が確認され、市民は感染拡大の防止に細心の注意を払いながら、社会・経済活動の両立に向け、懸命に取り組んでいるところである。

このような中、感染者とその濃厚接触者及びこの感染症と闘う医療従事者や福祉・介護関係者並びにその家族が、インターネットやSNS等の様々な媒体によって、差別や偏見、心無い誹謗中傷を受けたり、憶測による誤った情報が拡散されるなど、著しくその人権を脅かされている。

こうした行為は、当事者を深く傷つけるだけでなく、感染者等が萎縮し、濃厚接触者の情報提供を拒んだり、医療従事者の疲弊による医療体制の崩壊を招くなど深刻な事態につながりかねない。

新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染し、誰もが気づかぬうちに周りの人に感染させる可能性があること、いわれのない誹謗中傷等は決して許されない行為であること、誰もが誹謗中傷等の加害者にも被害者にもなり得ることを市民一人ひとりが十分に認識した上で、冷静に行動することが求められている。

今後、ワクチン接種が段階的に実施されていく予定であるが、そのスケジュールが不透明なこと、全国的に接種を希望しない人が2割を超えている現状もあることから、まだまだ予断を許さない状況にある。

よって、本市議会は、より一層の感染防止策を広く訴えていくとともに、新型コロナウイルスの感染者等に係るいわれのない差別や偏見、誹謗中傷の根絶に向けて全力を挙げて取り組んでいく決意をここに示すものである。

以上、決議する。

令和3年3月23日

佐賀市議会



意見書

〔賛成少数で否決〕

- ▼75歳以上の医療費の窓口負担2割化の徹底審議を求める意見書案
- ▼核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書案
- ▼選択的夫婦別姓の導入に向けた民法改正を早急に求める意見書案

決議

〔全会一致で可決〕

- ▼新型コロナウイルス感染症に係る差別や偏見、誹謗中傷の根絶に関する決議

人事

公平委員会委員の任命について同意した。
田中 恵子氏
農業委員会委員の任命について同意した。

- | | |
|----------|---------|
| ▽池田 敏伸氏 | ▽大園 敏明氏 |
| ▽小川 義美氏 | ▽蒲原 茂氏 |
| ▽北村 タツ子氏 | ▽北村 守氏 |
| ▽田中 郁子氏 | ▽千綿 太郎氏 |
| ▽永淵 昭氏 | ▽中山 光氏 |
| ▽野田 善一氏 | ▽野田 政光氏 |
| ▽野田 悦伸氏 | ▽平尾 泰弘氏 |
| ▽福田 義弘氏 | ▽藤野 兼治氏 |
| ▽真崎 英介氏 | ▽松尾 滋樹氏 |
| ▽宮崎 和彦氏 | ▽八次 正氏 |
| ▽山口 敏勝氏 | ▽山田 敦氏 |
| ▽吉田 和文氏 | ▽吉原 直行氏 |
- 人権擁護委員候補者の推薦について、異議なき旨答申した。
- | | |
|----------|---------|
| ▽御厨 秀樹氏 | ▽藤野 真也氏 |
| ▽栗原 大次郎氏 | ▽大石 弥生氏 |

総務

一般会計予算中、NHK全国放送公開番組関連経費

〔質問〕 どのような番組か。
 〔答弁〕 今回招致する番組は「新・BS日本」の「うた」という音楽番組で、日本の定番ともいえるべき名曲を紹介するものである。

〔質問〕 予算計上の経緯と内訳は。
 〔答弁〕 新佐賀放送会館が中心市街地に建設されることにより、全国放送を招致し、佐賀市を全国にアピールしたいと考えており、番組収録会場の設営や運営に要する経費等を計上している。

文教福祉

佐賀市国民健康保険税条例の改正

〔質問〕 医療分において、県が提示した標準税率にならえば均等割額は730円下がるが、500円しか下げていない。この理由は何か。

〔答弁〕 県が標準税率を示し、その後市町が対応するか判断している。税率を引き下げた理由は、国交付金と決算剰余金が増加したためである。下げ幅は、今後の医療費の動向等を勘案して決めている。

〔質問〕 番組を通して、佐賀市の魅力をどの程度アピールできると考えるか。

〔答弁〕 他市で開催された番組では、地元の子ども合唱団等が番組に参加する演出がなされていた。今後の協議で、市の魅力発信につながる演出を少しでも多く取り入れたい。



常任委員会

同予算中、選挙啓発経費

〔質問〕 年代別または地域別の選挙啓発についての具体的な取り組みは。

〔答弁〕 小学生に選挙期日に関するチラシ等を配布し、家庭で選挙の意義について話題にしてもらい、将来的に自ら投票に行く意識付けにつなげたい。また、YouTube上で動画を再生すると表示される広告を掲載し、啓発を行いたい。さらに、現在は佐賀大学のみを設置している期日前投票所を他大学に広げるため、各大学と協議していきたい。一方、富士町

佐賀市子どもの医療費の助成に関する条例の改正

〔質問〕 助成対象の拡大については、今まで難しいと一般質問での答弁だったが、決定までの経過はどうなっているか。

〔答弁〕 これまで、一般質問の際、予算的に厳しいので十分に検討して進めていくと答弁してきたが、助成対象を拡大したいの思いから、県内市町や九州県都等の動きも調査し、機会あるごとに経費の試算を行うなど検討を行ってきた。市民の方から要望もいただいたこともあり、来年度予算を検討する中で、コロ

の一部地域で設置している移動期日前投票所については、地域間の公平性を担保しながら、慎重に対応していきたい。

〔質問〕 期日前投票所を大型商業施設に設置してはどうか。

〔答弁〕 投票率を向上させる点では有効だと思いが、駐車場の確保が困難であることや、商業施設の営業に支障が出るおそれがあることから、設置は困難と考える。また、一度設置すれば、継続して設置する必要があることから、これらの課題や他市の状況等を踏まえて検討したい。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決または承認すべきものと決定。

ナ禍において子育て世帯の負担軽減に少しでもなればとの思いで、来年1月から実施したいとの判断となった。

一般会計補正予算中、新型コロナウイルスワクチン接種経費

〔質問〕 予約受付の際に、電話受付だけではなく、インターネットを活用するなど、何か工夫が必要ではないか。



〔答弁〕 予約受付は、電話受付に加え、QRコードを使用しスマートフォンからウェブ上で予約できる

システムを検討している。

〔質問〕 例えば聴覚障がい者に対するFAX受付や接種会場での手話通訳対応など、障がい者に対する対応についてはどう考えているか。

〔答弁〕 聴覚障がい者のためのFAX予約など検討している。予約手続きや接種会場においても、なるべくスムーズに接種ができるようにしたいと考えている。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。

情報コミュニケーション条例の制定を!! (文教福祉委員会が市長へ調査報告)



佐賀市議会 HP

経済産業

一般会計予算中、有害鳥獣駆除対策事業

〔質問〕 昨年の附帯決議では、新規狩猟者の掘り起こしを大きな課題としていたと思うが、予算案は新規狩猟者が出てきた場合の補助にしか見えない。新規狩猟者を掘り起こすための予算が全くついていないが、どのように考えているのか。

〔答弁〕 狩猟を行うには保険の加入も必要であるが、猟友会に入ると保険代が比較的安くなる。また、狩猟期には毎年狩猟登録が必要だが、猟友会に入れば、市

が登録費用の助成を行う。このため、新規で免許取得を考える方に対しては、そういった利点を広報する必要がある。

〔質問〕 それはあくまで検討している人に向けての発信ではないのか。そうではなくて、新規狩猟者を掘り起こすための方策は考えていないのか。

〔答弁〕 新規の掘り起こしは非常に重要だと考えており、ホームページや市報などで新規狩猟者に対する支援について周知していきたい。

〔質問〕 例えば、新たな人を紹介したら何らかのメリットがあるというような、

新規狩猟者の開拓に真剣に取り組んでもらえるような方策を検討してはどうか。

〔答弁〕 猟友会と定期的に意見交換をしながら、新たな狩猟者の掘り起こしについて積極的に検討してきた。



〔質問〕 新規事業の取り組みや事業の拡充をする割には、予算総額が今年度から

大きく増えていないのはなぜか。

〔答弁〕 農作物被害軽減のために必要額を予算化したつもりであり、来年度事業は自衛活動を強化することをポイントとしている。これは今まで市で十分でなかった部分であり、先進事例などを調査した結果、駆除や防除だけではなかなか被害を軽減できず、集落対策にも力を入れるべきだと判断したため、その予算を計上している。捕獲と自衛活動をバランスよくやっていくことで、農作物被害をできるだけ軽減していきたい。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。

建設環境

一般会計予算中、カラス被害防止ネット購入費補助金

〔質問〕 昨年度より予算を増額しているのか。

〔答弁〕 令和2年度は9月の新型コロナウイルスウィルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した補正予算を含め、260万円を予算措置したが、申請件数が多く、令和2年12月には予算がなくなるほどであった。また、令和3年4月からの補助金申請の相談もすであつてい

60万円増額して計上している。

〔質問〕 令和3年度の途中で予算が不足した場合、補正予算を組む考えはあるか。

〔答弁〕 カラス被害の防止対策については、この補助事業だけでなく、ごみステーションの管理やカラスネットの下に黒いシートを被せるなどの対策方法を周知しながら、総合的に取り組んでいきたい。まずは、それらに取り組んでから補正予算については考えていきたい。



常任委員会

同予算中、佐賀コローニ跡地開発関連水路整備事業及び川上地区調整池整備事業

〔質問〕 調整池の大きさは十分なのか。

〔答弁〕 佐賀県が開発区域内の調整池を整備し、本市は川上地区の浸水軽減を図るための調整池を大和中央公園の区域内に計画している。今回の調整池だけで浸水問題が全て解決するとは考えておらず、水路の障害物除去やしゅんせつなどを含めた総合的排水対策を考えている。

〔意見〕 この地区は浸水しやすい地域と聞く。産業団地が開発されれば、排水能力に更に負担がかかるため、そのことを

考慮した上で計画を進めていただきたい。

〔答弁〕 この地区は令和元年も県道付近で浸水被害に遭い、その対応として、令和2年に嘉瀬川の西側にある右岸幹線水路の障害物の撤去や東平川のしゅんせつといった排水対策が行われた。今後は、大和中央公園内に調整池等を整備することでさらなる排水対策に努めたい。

〔審査結果〕 全ての議案について、可決すべきものと決定。

議会からの意見にどう対処するの？

～議会の附帯決議に対して、市長から対処方針等が報告されました～

令和元年度決算議案に係る議会からの附帯決議に対して、令和3年2月10日に市長から議長に対処方針等の報告書が提出されました。

附帯決議とは、市長から提出された予算や条例などの議案に対して、その執行に当たっての議会としての意見や要望等をあらわすものです。

法的な拘束力はありませんが、市長は議会からの意見を尊重する政治的・道義的な責任を負うものです。

対処方針等の報告内容については、議会ホームページの「市議会からのお知らせ（2月15日掲載）」をご覧ください。



左：秀島市長、中：川原田議長、右：嘉村副議長



議会ホームページ

佐賀市議会

検索



特別委員会

バイオマス産業都市 調査特別委員会

1月25日開催

〔質問〕バイオマス産業都市構想について、政府が2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするとの目標を掲げたが、これを受けて、市はどのように対応するのか。

〔答弁〕バイオマス産業都市構想は、国が宣言したカーボンニュートラルの一つの要素だと考えており、佐賀市地球温暖化対策実行計画の「2030年度までに温室効果ガスの削減27%」を早期に実現し、また、「2050年までに温室効果ガスの削減80%」を削減100%に変更するためにもどのような取り組みが必要となるかを検討していきたい。

3月2日開催

〔説明〕これまで21ヘクタールの事業用地は株式会社アルビータに売却すると説明してきたが、売却先を株式会社センタウエストに変更したいとの申し入れ

があった。調査の結果、センタウエスト社は売買契約の相手方として問題はなく、アルビータ社の事業にも影響はないと判断し、センタウエスト社と売買契約を締結したい。なお、売却後の事業用地の活用については、事業用地を4区画に分割し、そのうち2区画はアルビータ社の藻類培養のための施設を契約後から段階的に整備し、残りの2区画については、時期は未定だが、他社との協議が整い次第、整備することを想定されている。

〔質問〕第3区画、第4区画についてはきちんと活用していただかなければならない。少なくとも2年以内に事業に着手していただくように、覚書などで約束してもらう必要があるのではないか。

〔答弁〕2年以内に全区画の活用を求めることは、かなり厳しい条件である。この事業は、佐賀市に藻類産業を呼び込むことを目的としているため、アルビータ社の事業がスムーズに進むように体制をとって応援していきたい。まずは、売買契約を先に締結し、その後の事業については、一緒に考え、行動していきたい。

〔質問〕二酸化炭素分離回収事業は、こ

佐賀駅周辺整備調査 特別委員会

2月10日開催

の21ヘクタールの事業用地を活用し、10トンの二酸化炭素の使用量を見込んで整備したが、事業用地の半分で事業を展開しても使用量は0.5トン程度と見込まれる。二酸化炭素分離回収事業の事業計画は大幅に変わっているため、これまでの事業の延長として取り組むという考えは見直すべきではないか。

〔答弁〕 アルビータ社の事業計画に合わせる二酸化炭素の回収装置を建設したが、当初の計画ほど二酸化炭素を必要としなくなった。一方で、JAなどが清掃工場周辺に進出し二酸化炭素を活用していただいていることなど、当初に想定していた状況より大分違うものになっているため、改めて計画を作成する必要があると考えている。現在、企業と二酸化炭素の液化について協議中であり、協議が整えば10トンの二酸化炭素を全て使用する計画が立てられると考えている。

〔意見〕 これまでの事業を基にした計画ではなく、しっかりと作り変え、報告していただきたい。

〔答弁〕 二酸化炭素の液化については今後の課題と考えており、どのような形で液化を進めることができるのか調査し、来年度中にまとめていきたい。

〔説明〕 佐賀駅北口の駅前広場は、全ての工事の完了が令和3年4月末の予定であり、当初の予定から1カ月程度の遅れが生じている。南口広場については、規模の大きな屋根の設置を含め、令和4年12月中の完成を予定している。

市道三溝線については、アパホテルの一つ北の交差点までの道路改良工事と、1工区を除く、車道と歩道の舗装工事を行っており、現在、植栽の木の種類や間隔について協議が行われているため、6月末の完了を予定している。電線の地中化に関しては、5月末に無電柱化未整備区間の詳細設計を完了する予定であり、7月から道路東側の電線共同溝の整備を行いたい。また、三溝公民館の隣接地など3カ所にポケットパークを整備したい。

佐賀駅南口の県道佐賀停車場線の道路空間の検討については、試行的な取り組みとして、3月12日から3月14日までの3日間、東側の車道を1車線にして歩道が拡張された後の疑似的な空間をつくり、来場者へのアンケート調査を行う社会実験を行いたい。

SAGAサンライズパークとの連携については、文化会館との接続部分に幅4

メートルのベデストリアンデッキを整備する予定である。また、通行の安全性確保と駐車場の利便性を向上させるためのロータリーや文化会館を周回する道路の整備、さらに、施設景観の向上と利便性の向上を図るための文化会館広場の整備や駐車場の整備を実施することとしている。これらの整備は、SAGAサンライズパークの整備完了予定である令和4年度末の整備完了を目指したい。

〔質問〕 北口および南口の駅前広場に整備される障がい者用駐車スペースが1カ所ずつという方針に変更はないのか。

〔答弁〕 全体の駐車台数が少なくなることや県の基準を満たしていること、また、長時間の駐車を想定していないことから、最終的に1台とした。

〔質問〕 SAGAアリーナではどの程度のイベント開催が想定されているのか。また、イベント時にどれくらいの人が歩くかという想定は行っているのか。

〔答弁〕 県に確認したところ、完成から6年後には、Vリーグ年間30試合、Bリーグ年間24試合、コンサート年間16回、その他のイベント10回程度の開催が想定されている。イベント開催時に歩く人数の想定については、現在、県の方に確認を行っている。

〔意見〕 整備した後には混乱が生じないよう、事前に計画を立てるべきである。県と連携し十分に検討を行ってもらいたい。

〔現地視察〕 佐賀駅南口暫定駐車場の西側出入口に設置しているポールを動かすなどを行い、利用者が心理的に広く感じられるよう改修を行ったとの報告を受けたため、現地視察を実施。



佐賀駅南口暫定駐車場視察の様子

〔意見〕 佐賀駅南口暫定駐車場については、県の基準に照らし合わせると障がい者用駐車スペースが1台不足していることが明らかとなり、当初から設置されている5台分とは別の場所に2台分が新設されたが、利用者のことを考えると1カ所に集約すべきなどといった意見が今回改めて出されたことから、執行部には再度検討を行っていただきたい。

水害対策調査特別委員会

1月22日開催

〔説明〕 水害時の危険箇所については、毎年、河川巡視等を行い、浸水対策や市内の危険箇所等の情報共有を行っている。また、浸水情報や避難所に関する情報を市民に分かりやすく提供して人的被害を防ぐためにハザードマップを作成し、対象地区への全戸配布、ホームページ掲載を行った。避難情報等を市民へ確実に伝達するために、「さがんメール」や防災行政無線など様々な手段で情報発信を行っているが、登録者数が少ないため、引き続き周知を徹底し、これらの情報伝達媒体を利用して積極的に情報収集を行うよう啓発を行う。このほか、災害に関する情報を正確、迅速に市民に伝達するための防災総合システムについては、災害発生時に市民の生命、財産が危険にさらされる可能性が高い地域を重点的に整備している。次に、校区自主防災組織が市内32校区中21校区で結成され、単位自治会で結成された数を合わせると、結成率は77・81%であるが、自主防災組織が未結成の地域があることや活動が十分に行われていない組織もあるため、自主防災組織の研修会や出前講座な

どを通じて、自主防災組織の重要性、活動内容等の啓発を行う。大規模災害時の避難所運営には住民参加が不可欠であるため、自主防災組織との連携については、今後も検討する。

〔質問〕 河川の水位や道路の浸水状況を確認するための監視カメラが現在47台あり、今後5台を増設予定だが、これらは全て市民が見ることができるのか。

〔答弁〕 監視カメラのほとんどが極門の状況やその周辺の水の状況を見るためのものであるため、市民に常時公開しているのは47台のうち6台で、これに加えて災害体制時は21台である。今後増設予定の5台も極門操作作用を想定しているが、既存の分も含め、市民への公開については、要望等も踏まえて今後検討したい。このほか、浸水標尺を設置し、現在、13



カ所をテレメータ化して、市役所内で浸水状況を確認できるようにしている。これを映像ではないが、市民にお知らせできるようなシステムづくりを検討する。

〔質問〕 自主防災組織の結成率は、単位自治会での組織結成率が基本と考える。校区の防災訓練に参加されるのは自治会長や3役くらいであり、単位自治会で自主防災組織を結成したほうが、防災活動の普及につながるのではないか。

〔答弁〕 単位自治会で自主防災組織を作ったほうが有効性は高いと考える。広域的に対応するものや、狭い範囲で近くの人を助けるなど様々な対応があるため、校区自治会だけでなく、単位自治会にも結成に向けた啓発を行っていききたい。

〔質問〕 ハザードマップの活用や「さがんメール」の登録などを、自主防災組織の日常活動として市民に働きかければ効果が上がると考えるが、自主防災組織との連携をどのように考えているのか。

〔答弁〕 例えば、大地震が起きた場合に、市職員が救助に行ったり支援物資を送れない場合も想定される。こうした場合は、地域の自主防災組織で行う助け合いや避難所運営などの活動が重要になると考えられるため、今後は災害に備えた自主防災組織との連携を図っていく必要があると考えている。

佐賀市議会 6月定例会のお知らせ

6月1日（火）午前10時開会（予定）

※会期日程等については、定例会開会日に正式決定し、ホームページでお知らせします。

※市内外のどなたでも傍聴することができます。

車椅子での傍聴もできますし、文字情報モニターや補聴器もあります。

※常任委員会や特別委員会も傍聴できますので、ぜひおいでください。



一般質問

「市政ここが聞きたい」



議会動画配信

3月11日(木)

次期市長選に向けた市長の考えは！

山口 弘展 (自民市政会)

①次期市長選へ向けた市長の考えは②現時点で後継者はいるのか③次期市長に託したいことは④市長の思いを継承してくれる候補者が現れば応援することはあるのか⑤任期まであと半年、市政が不安定とならぬよう最後まで職務を全うすべきと考えるが、見解は。

答弁 ①やり残した部分は次の方に引き継ぎ、今回限りで引かせていただくという思いである②今のところいない③1つ目に排水対策、水害について、2つ目にバイオマス関係、3つ目に発達障がい関係、4つ目にマイクロソフト社との連携である④基本的に引く者が後に縛りをかけるべきではないという思いを持っており、今のところそういう考えはない⑤気が緩み、だらけてしまうようなことになると次の方に対して失礼になるので、空白を作ることがないように、精いっぱい力を尽くしたい。



かわそえギャラリーの思いを大切に

白倉 和子 (さが未来)

合併後の平成22年に開設された「かわそえ佐賀田園の郷ギャラリー」は支所の建て替えと同時に無くすとのことだが、一堂に集まった作品を生かしきれないのは佐賀の文化振興の観点からも禍根を残す。①ギャラリーの評価は②存続要望を受けての感想と対応策は。

答弁 ①川副町ゆかりの画家の先生方の作品鑑賞や市民の作品発表の場として活用され、気軽に文化芸術に触れる場を提供してきたと認識している②要望書にはギャラリーの存続を強く願う熱い思いを感じた。作品を一堂に展示できる場所はまだ見つかっていないが、先生方の意向を確認しながら可能な限り市有施設への展示ができる検討を進めたい。



人口減少対策の更なる推進を！

久米 勝也 (ネットワーク佐賀)

新型コロナウイルス感染症拡大でリモートワークやテレワークが急速に普及し、地方への関心が高まる中で、本市もこれを移住促進の契機と捉え、今後のまちづくりにおいて移住・定住政策及び空き家バンク制度の推進を強化すべきと思うが、今後の取り組みは。

答弁 社会情勢の変化や、働き方、暮らし方に対する人々の意識の変化は、仕事や人を呼び込むチャンスと捉えており、佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略を見直し、移住・定住策の取り組みを強化していく。雇用創出、子育て支援、良好な住環境の確保、公共交通の充実、移住プロモーション動画による広報など全庁を挙げて実施し、また、中山間地域においては、地域自らが将来を見据えた取り組みを持続できるよう後押ししていきたい。



3月12日（金）

若年層の投票率
向上の実現を!!



永瀬 史孝（自民政新会）

啓発活動について問う①市のホームページに選挙の特設サイトを設置する考えは②SNSの活用は③ユーチューブの活用は④動画コンクルの実施は⑤選挙公報PR大使の導入は⑥民間事業者・飲食業者と協力し、選挙割の取り組みを導入してはどうか。

答弁 現行のホームページでの情報発信を分かりやすく、効果的に行っていくとともに、特設サイトの設置に向けた検討を進めたい②他市の活用事例を参考に検討したい③次の市長選挙・市議会議員選挙での導入に向けて準備を進めたい④若年層対象にコンクールや動画作品の募集、企画への参加について検討したい⑤一定の効果も見込まれるため、今後検討したい⑥サービスの享受を目的に投票をするこ

とには違和感があり、主体的に取り組むことは難しい。
◆その他◆公共施設
のトイレの在り方



市役所SLに
「無限」プレートを!!



御厨 洋行（市政未来）

市役所SLに、「劇場版『鬼滅の刃』無限列車編」の人気を受けて、「無限」と書いたプレートを取り付けて欲しいという要望が市に寄せられている①問題や課題は②新たにアニメやキャラクターとのコラボは考えられないか。

答弁 ①著作権などに相応の費用がかかる一方で、作品の舞台や原作者が佐賀市とゆかりがなく、佐賀市の宣伝やイメージアップにはつながりにくい。また、SL自体が佐賀市に所有権がなく、車両貸借の契約内容から、新たにプレートの設置が難しいことが挙げられる②経済効果につなげるためには、作品をきっかけとして佐賀に来てもらうことが重要であるため、佐賀にゆかりのある作品など、観光振興や経済効果につながる

と判断されるコラボは今後活用したい。
◆その他◆公園整備
について



ゲーム障がいと
eスポーツの関連は



江頭 弘美（自民さが）

国体の併設イベント、専門学校の設立、高校でのeスポーツ部の設立、そしてまちおこし等、eスポーツを巡る状況は大きく変わろうとしている。反面、子どもたちのゲーム依存症につながるなどの懸念もある。eスポーツとゲーム障がいの関連性をどう考えるか。

答弁 eスポーツは一般的に認知され人気が出てきている一方で、ゲーム依存を危惧し病気として定義する動きもある。eスポーツとゲーム障がいの直接的な関連は明言できないが、長時間のゲーム練習がゲーム障がいを引き起こす可能性は否定できない。将来なりたい職業にプロのeスポーツプレイヤーが上がる

時世になったことを思えば、ゲーム依存にならないよう、学校や家庭の中で健全な心身を育み、将来の夢や目標に向け努力してもらいたいと考える。
◆その他◆発達障がい
児対策について



売茶翁を積極的に
PRせよ!



福井 章司（自民政新会）

①売茶翁の功績や文化的資産をどう認識しているか②NHKドラマで売茶翁を演じた石橋蓮司氏との対談企画を行うなど売茶翁のPRを行うべきでは③県も「伊藤若冲と売茶翁」の開催を企画中和聞が、市の協力は④売茶翁を市の観光施策にどう生かすか。

答弁 ①煎茶を世に広めた売茶翁の功績を多くの方に知っていただき本市を訪れていただくよう、顕彰会と連携し官民協働で取り組んでいる②これまで取り組んできた顕彰活動や売茶翁に関するイベントのほか、顕彰会などと相談し効果的なPRや活用を検討したい③県が開催を検討中の展覧会と連携したい④日本遺産に認定された長崎街道を活用し、お茶とお菓子の組合せを効果的に広報するなど売茶翁をより顕在化する企画を考えていきたい。
◆その他◆
人事政策について／理科教育について



若冲が描いた売茶翁
（富遊外売茶翁顕彰会提供）

内水ハザードマップ 精度向上を

山下 伸二(ネットワーク佐賀)



昨年11月に内水ハザードマップが更新されたが①更新に至った理由は②令和元年8月豪雨の実績が反映されていない所があるとの指摘があるがいかか③今後も内水ハザードマップの更新が想定されるが、精度を高める取り組みをどのように行っていくのか。

答弁 ①令和元年8月の豪雨が従来のハザードマップの対象降雨を上回ったことや、排水対策による雨水ポンプ場や雨水幹線などの施設整備が進み、従来のハザードマップが現状にそぐわない状況となったため改訂した②浸水が広範囲に及んだため、一部の詳細な浸水状況が把握できておらず、全てを反映できていないわけではない③リアルタイムに浸水状況を把握するため、自動計測箇所を現在の13カ所から29カ所に増やし、精度向上を図ることとしている。



◆その他◆
中心市街地の活性化について

適正な 人員確保を!

富永 明美(社会市民クラブ)



※4 エssenシャルワーカーとして任務に当たられる市職員であるが、その数は減少傾向にある。一方、多様化する住民ニーズ、自然災害、新型コロナウイルスなど、業務量は増加し人員体制を懸念する。良質なサービス提供の為に人員確保は重要だと思いが見解を。

答弁 市民ニーズの多様化、行政需要の増加への対応が必要のため、福祉や子育てなど必要な分野には適宜増員している。また、専門的な分野には専門知識や資格を持った会計年度任用職員の配置などにより対応している。コロナ禍で財政状況が厳しさを増し、職員の大幅増員は難しいため、今後増員が必要な分野に人的資源を投入できるよう、AIやRPA^{※5}を活用した事務の効率化や事務事業のスクラップ・アンド・ビルドにより必要な人員の確保に努めている。

◆その他◆
子どもの遊び場について/情報モラル教育について



アフターコロナの 図書館は

池田 正弘(公明党)



コロナ禍で人と接することに敏感になってきている人に対し、新しい生活様式を踏まえて図書館の在り方も考える時期に来ていないか。非接触型、非対面型、非来訪型の考えを取り入れた、将来を見据えた対応を考えるべきと思うが、市の見解を伺う。

答弁 コロナ禍において難しくなっている外出先での長時間の滞在や人と人の交流が以前から公共図書館が担ってきた役割でもあり、決してなくしてはならない部分だと思っている。アフターコロナの世界の変化を見据えながら図書館の機能を損なうことなくサービスを維持していくことが大切だと考えており、従来の来館型サービスだけではなく、来館せず本を借りることができるといった非来館型サービスについても、今後研究をしていくことは重要だと認識している。



小水力発電の 普及促進策を問う

松永 幹哉(自民さが)



吉野ヶ里町松隈地区で、出力30kwの小水力発電所が昨年11月に稼働された。地域で運営を行い、売電収入で中山間地域の活性化事業が展開されている。県は松隈地区の事業を「佐賀モデル」として、県内外へ展開を図る考えである。市の小水力発電の普及策を問う。

答弁 小水力発電は、水利権の手続きが煩雑で場所によりコストパフォーマンスに差が出る懸念があるが、発電に二酸化炭素を発生しないクリーンエネルギーで、時間や天候に左右されず安定した発電が可能である。国や市の補助制度を必要な地域に案内し、民間企業とのマッチング等で地域における小水力発電を推進したい。また、中山間地域の地域振興の観点からは、水路の管理等の収益を活用することで、地域コミュニティの活性化や拠点づくりの手段となると考えている。

◆その他◆
行政改革



松隈小水力発電所

※4 エssenシャルワーカー…人々が日常生活を送るために欠かせない仕事を担う人。例えば、医療・福祉、小売、物流、などの業種の労働者。
※5 RPA…人が行う定型作業をソフトウェアにより自動化すること。

被災者支援のため

新たなサービスを



村岡 卓（公明党）

マイナンバーを活用した「^{※6}ぴったりサービス」には、子育て分野、介護保険分野のほか被災者支援に関するサービスを設定することができる①現在の市の状況は②解消すべき課題は何か③導入に向けて今後どのように取り組んでいくのか。

答弁 ①被災者支援サービスの導入には至っていない②本市では罹災証明書と被災届出証明書の交付申請書を一本の様式としているため、どちらの申請であるかの確認が生じることや、直接窓口で確認したほうが効率的である項目が多いこと、また、災害援護資金の貸付申請は記入項目が多く、申請者の手間が非常にかかることなどが課題である③国の動向や他市の活用状況などの情報を収集し、関係課とも情報共有を行いながら、実現に向けた検討を行っているいきたい。

◆その他◆国際交流について



インクルーシブ

教育の充実を!!



松永 憲明（社会市民クラブ）

①生活指導員や支援員については、学校の実情を十分把握し、要望に沿うような配置をすべきではないか②介助員や看護士の配置が必要な子どももいて、国の補助もある中、どうしていくのか③地域人材の活用や地域連携（12月答弁）はどのように進めるのか。

答弁 ①生活指導員、特別支援学級の支援員は、教育予算が厳しい中、前年度と同じ人員数を配置しているが、現状での対応が大変厳しい状況になっている②他市の状況や派遣していただく看護士の状況等を踏まえた検討が必要③非常勤講師の活用や指導教諭などを中心とした地域への呼びかけを考えている。また、コミュニティ・スクールが広がれば取り組みが市全体に広がるので、校長会等で積極的に呼びかけていきたい。

◆その他◆教職員の働き方改革について



東与賀町・川副町の

上水道一元化は



重松 徹（自民市政会）

人口減少社会において、国は水道法改正によって、水道基盤強化を図るため、広域連携を積極的に推進している。そうした中、西佐賀水道企業団は統合した。広域連携の中で東与賀町・川副町の上水道の一元化について、市長はどのように考えているのか。

答弁 水道行政を行う場合、一つの水道事業で行うことが望ましい姿だと思うが、本市は様々な水道事業体を持つ自治体が合併しており、料金などそれぞれ違う部分がある。西佐賀水道企業団の水道事業下に入った久保田町は、今回本市の水道事業の中に入ったが、東与賀町、川副町については、佐賀東部水道企業団への影響を十分議論し、条件整備ができれば一元化ということもあると思うが、まずは前段の協議が必要だと考えている。

◆その他◆公用車へのドライブレコーダーの搭載について



市有林の

管理はどうする？



重田 音彦（自民市政会）

佐賀市の市有林は1,848haあり、その多くは自治会との分収林である。分収林は土地と苗を市が提供し、自治会が撫育を行う仕組みで契約期間は40から50年だが、その多くが期限を過ぎ伐採が行われないうままになっている。契約の見直しを行うべきではないか。

答弁 富士地区では国土調査前に契約を締結しており、分収造林地の地番を国土調査後の地番に修正中だが、事務作業が進んでおらず大変申し訳なく思っている。また、自治体の管理方法や考え方に違いがあり、分収造林地の計画的な森林整備の方針を示すことができていない。まずは自治会に意向確認の実態調査を実施し、できる限り早い時期に整備方針を示したい。

◆その他◆過疎計画／太陽光発電のため
の山林開発／中学校の部活動



※6 ぴったりサービス…政府が運営するオンラインサービス「マイナポータル」内で地方公共団体が提供する行政サービスの検索や、オンライン申請ができるサービスの総称

地域内交通による
移動手段の確保へ

野中 宣明 (公明党)



①生活に必要な都市機能がコンパクトにまとまったまちづくりを目指しており、公共交通はその都市機能を支える移動手段として重要な役割となる。よって交通政策を独自に進めるのではなく、まちづくりに沿って行うべきでは②行政の推進体制を強化すべきでは。

答弁

①交通政策はまちづくりと一体となって行う必要があると認識している。市の公共交通ビジョンでは公共交通を活かしたコンパクトなまちづくりの推進を掲げている。次年度に策定予定の地域公共交通計画においても、地域内交通の在り方に重点を置き、まちづくりを見据えた計画を検討したい②交通政策は様々な部署、地域、事業者との連携・調整が必要となる。また、今後高齢化が進み、公共交通の重要性が増すことが予想されるため、交通政策を確実に進めるための体制強化を検討したい。



富士町コミュニティバス

県の消防防災ヘリ
コプター活動せよ

川崎 直幸 (光明市政)



①消防防災ヘリコプター導入にあたりどのような要望活動をしたのか②拠出された費用はどれくらいか③佐賀市の財政的、人的負担は④活動として具体的にどういったものが想定されるか。また海難事故については⑤防災航空隊に期待されることは。

答弁

①県知事、県内の市町長が参加する会議で市長が消防防災ヘリコプターを提案し配備要望を行った②県の令和2年度予算総額は約31億700万円③本市の令和3年度負担金額は約1,400万円の見込みで、消防活動を行う隊員として、佐賀広域消防局から3名が派遣される④災害時の情報収集活動や救助活動、空中消火活動などがある。海難事故は、海上保安庁と連携しての対応を想定している⑤災害での活躍を期待している。
◆その他◆有明海のカモ被害/佐賀市社会福祉協議会の組織再編



消防防災ヘリかちどき

米の消費拡大を!

中野 茂康 (自民市政会)



米の消費量が全国で毎年10万トン、一人当たり0.7キロ減少している。佐賀県の生産量が年間約13万トンであり、いかに消費量が落ち込んでいるかが分かる。食の多様化が進む中、米の消費拡大が必要であるが、市役所から始める、米の消費拡大について伺う。

答弁

佐賀市特産物振興協議会で取り組むファーム・マイレージ運動での市産米の景品採用や、市内児童を対象とした米に関する講話や新米を食べ比べる「新米を食べよう!」事業のほか、家族向け農業体験の「ほんなもんば体験学校」等を通じ、市民に市産米をPRして米消費拡大に取り組んでいる。市役所内でのポスター掲示や、市職員に積極的な市産米の消費をメールで呼びかけるなど、市職員から米消費拡大の輪を広げたい。
◆その他◆漁業振興について/さが桜マラソン2021について



実効性ある避難
訓練・意識ひくきを

山下 明子 (市民共同)



①災害時に実効性ある避難・防災訓練への工夫を②自主防災組織の活動や防災リーダーの役割発揮への支援を③市防災会議に女性や障がい者など多様な視点を反映できる委員選任を④原子力災害時の唐津からの避難受け入れ情報を市民に周知し訓練もすべきでは。

答弁

①先進地の取り組みなどを調査し、より実質的な訓練内容の参考にした②ホームページや広報誌で積極的に活動されている自主防災組織の取組を紹介する機会を設けるなど、機運の上昇を図りたい③委員定数は50名以内で現在の委員は43名。残り7名の枠で様々な立場の方が委員になることも考えられる④唐津市原子力災害時広域避難対策協議会の中で情報発信や訓練について協議を行いたい。
◆その他◆市民に優しいバリアフリー行政/コロナ禍での市民の暮らしをささえるため



令和2年度総合防災訓練 (県立佐賀東高体育館)

生活保護の申請は国民の権利です

中山 重俊（日本共産党）



①生活保護受給世帯数の過去3年間の推移と令和3年2月末の受給世帯数は②生活保護申請者の親族に対する「援助が可能かどうか」という扶養照会が生活保護申請の障害となっているが、やめるべきでは③ケースワーカーなど職員の増員が必要では。

子育て世帯へさらなる支援の充実を

中村 宏志（公明党）



新型コロナウイルスの影響で経済状況や子育て世帯の家計が厳しいと言われる中①ひとり親家庭の父母が正規職への転職・再就職しようとするときの支援策は②多様な職業や働き方に対応した保育施設が必要では③子育て世帯へのさらなる支援の充実が必要では。

子どもの貧困問題の対策として

川副龍之介（自民さが）



本市では、全ての児童が放課後を安全安心に過ごし多様な体験や活動ができるようにすることを目指している①子どもの居場所を増やしていくべきでは②子どもの居場所の充実及び子どもに対する認識を共有するため、運営協議会の構成員を増員してはどうか。

難病児などへの保育体制を整えよ

西岡 真一（自民さが）



難病を抱えているなど、より手厚いケアが必要な子どもを受け入れる機能が、最後のとりでとして公立保育施設に求められると思う。新しく整備される本庄認定こども園には、看護師などの医療系職員を十分配置する等、ニーズへの対応を図っていく考えはあるか。

答弁

①平成29年度末が2,415世帯、平成30年度末が2,450世帯、令和元年度末が2,488世帯、令和3年2月末が2,518世帯②扶養照会の目的は送り等の金銭的な扶養の可能性だけでなく、保護を受けている方が入院や死亡等した場合に連絡先を確認するためであり、扶養義務履行が期待できない方への照会は原則行わない③法の規定に基づく標準定数を満たすよう改善していきたい

◆その他◆

新型コロナウイルス感染症のクラスター発生防止のために／国民健康保険制度について



答弁

①ひとり親家庭の父母が看護師等の就職に必要な資格取得のため、1年以上の養成機関で就学する場合、生活費の負担軽減を目的で支給する高等職業訓練促進給付金という制度がある②一定の需要はあると考えるが、市で不足しているという声は届いていない。今後、需要の動向を注視していきたい③今定例会では子育て世帯への支援として中学生までの医療費助成を拡充する議案を提出し可決された。この拡充で経済的負担の軽減が図られると考える。

◆その他◆

窓口での申請手続きについて



答弁

①子どもの居場所の開設や運営の相談対応、新たに開設する費用の補助などの支援を行い、既存の運営団体との連携や子どもの居場所づくりの機運醸成などを行いながら、市内に増やしていければと考えている②フードバンクさがは食品提供という形で居場所を支えていただいております。大変重要な存在である。フードバンクさがをはじめとする子どもの居場所を支援する団体の方々と、運営協議会での情報共有や意見交換を行っていきたい。

◆その他◆

事業承継について／農業振興について



答弁

本庄認定子ども園に統合する成章保育所では、先進的に障がい児の受け入れを行ってきた経緯があり、統合後も同様に受け入れたい。受け入れ態勢として、ハード面では事務室の設置、カーンダウンスペースの確保及び施設のバリアフリー化を、人的側面においては、従来の公立保育所同様に看護師等の医療職を配置する予定である。このような施設の充実や医療職の配置により、保護者が安心して子どもを預けることができる園になるよう努めたい。

◆その他◆

地域における防災について



※7 カームダウンスペース…感情的になったとき、冷静になるための場所



黒田 利人 (自民市政会)

農業体験学習への
支援策は

農業体験学習は、子どもたちが自然に親しみ、物づくりの過程や農業を理解するという観点から市内団体等の協力を得て各学校で実施されている。団体や農家の方の財政的負担を少しでも軽くするために支援制度はあるのか。また、その普及策として市の考えは。

答弁 1つは、地域農業者を県の特別非常勤講師として登録し、小・中学校へ派遣する際に講師料を支払う制度で、すでに各学校で利用されている。もう1つは市民向け農業体験学習を行う農業者に助成金を出す。次世代農業者育成支援事業である。この事業については、まだまだ活用が少ないため、ホームページで紹介するほか、JAへのチラシの常設依頼や、教育部など関係機関と連携を図りながら、制度周知と活用の推進を図っていききたい。

◆その他◆青少年の国際・国内交流事業



宮崎 健 (自民さが)

精神障がい者に
医療費助成の拡充を

現状、重度心身障害者医療費助成制度において精神障がい者のみが外れている①本市を取り巻く拡充の動きは②今後、拡充される方向になった場合、どういったプロセスで行われるのか。

答弁 ①昨年10月12日に佐賀県精神保健福祉連合会から制度の対象に精神障害者保健福祉手帳の1級から3級までの所持者の追加を求める陳情書が佐賀市に提出された。また、2月2日に県と市町で対象者拡充の意見交換会を開催した。県の来年度当初予算案に対象者拡充を盛り込んだ補助金が計上されており、可決されれば補助金要綱も改正予定である。②条例改正等細部については、次の定例会に向けて調整を進める。

◆その他◆にじゅうまる青少年科学館の建設計画について



山田誠一郎 (ネットワーク佐賀)

地域に愛される
本庄ごとも園に!!

①浸水抑制のための流水抑制策について、具体的にどのような協議をしているのか②本庄幼稚園跡地活用について、現在までどのような協議を行い、今後どのような協議をしていくのか③新園と周辺地域の景観を含めた、周囲への防音対策についての考え方は。

答弁 ①地域の方々が不安に思うことがないよう、造成に伴う雨水の流出量増大を抑制し、周辺水路への排水機能負担軽減を図る対策を今後検討したい②現在跡地活用の方向性など、課題や意見の整理を行っている。遊水地活用も検討したい③新園と南側住宅地との間に樹木を植えるなどの検討をしている。新園は地域に親しまれる園を目指し、住民から子どもたちの姿が見え、声も心地よく受け止められたい。

◆その他◆災害時の避難所について



本庄幼稚園



堤 正之 (自民政新会)

中心市街地の
国土調査の促進を!

①地籍調査によって初めて筆界未定などの問題が明らかになるなど未実施が土地の利活用の障害になっていないか②筆界特定制度とは③市民から地籍調査の早期実施の声が多い。更なる促進策は④中心市街地の健全な発展のためにも商業エリアを優先すべきでは。

答弁 ①土地の測量、登記業務にかかる費用が個人負担となり、利活用の障害の一部になっている場合がある②筆界特定登記官に筆界の特定を求める制度で、公的な判断として筆界が明らかになり、筆界トラブルを迅速に解決できる③筆界特定制度に加え、長期相続登記等未了土地解消作業が行われている④中央本町等の中心市街地から調査を開始しており、今後も商業エリアを優先して実施したい。

◆その他◆国際課及び市国際交流協会の在り方／多面的機能支払交付金制度の加入促進





交通局の局舎
建て替えについて

千綿 正明（政研会）

①平成28年3月定例会で、交通局局舎は老朽化が著しく壁の崩落の危険性もあるため、早急に建て替えを検討することと附帯決議がされたが、その後の検討は②現地建て替えか移転新築かはまちづくりの視点で考えるべきであり市長部局の方針決定が必要では。

答弁 ①交通局内では、現地での単独建設、または市の事業やプロジェクトに絡めた建設を検討し、関係部署との協議に努めている②局舎建て替えは、交通局が主体となって協議し、市有財産の有効活用の観点からは総務部、まちづくりとしての中心市街地や経済活性化の観点からは経済部、都市計画や具体的な建設計画の観点からは建設部、交通政策の観点からは企画調整部といった各部署の意見のすり合わせが必要であり、市長部局としても、その検討の中でしっかりと関与していきたい。



令和3年度は
やります！

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で議会報告会を中止し、次年度の開催に向け開催会場や形式、内容などを検討してきました。

どう思う？いまの佐賀市

～議員と語ろう～

と題し、市民のみなさんの**いま**の声を聴く議会報告会を開催！

〔日にち〕令和3年5月15日（土）〔会場〕メートプラザ佐賀

1部 全体会
14:00～15:00

議会の取り組み
特別委員会報告
バイオマス産業都市調査特別委員会
佐賀駅周辺整備調査特別委員会
水害対策調査特別委員会
質疑応答

2部 分科会 常任委員会ごとに分かれ意見交換会
15:20～16:20

《各委員会のテーマ》

- ◇総務委員会：どうしていこう防災対策と避難所
- ◇文教福祉委員会：情報コミュニケーション条例を
考えてみよう
- ◇経済産業委員会：どんなカンジ？コロナ禍の経済対策
- ◇建設環境委員会：さがしの川を守るために

市報さが4月15日号でご案内をしておりましたが、今回は、新型コロナウイルス感染症対策として、事前申し込みとし、会場への入場者数を減らして開催します。当日、事前の申し込みなく来場される方は、参加者数の都合により参加希望に沿えない場合もございますのでご了承ください。

スマートフォンやタブレット端末で、 本会議中継が視聴可能になります



令和3年6月定例会から、従来のパソコンでの視聴に加えて、スマートフォン・タブレット端末でも本会議中継を視聴できるようになりました。より手軽に視聴可能となりますので、ぜひご利用ください。

◆対象のスマートフォンOS

i OS、Android

◆対応時期

令和3年6月定例会 本会議中継から
※録画配信については、令和3年3月定例会以降の本会議中継が対象です。

iPad
iPhone
Android 端末
OK



議会通信簿



せと あき
世戸 亜希さん (駅前中央)

Q：佐賀市の自慢・良いところは？

A：障がいのある息子と街を歩いているときの目が優しい。こちらに気を遣わせないさりげないやさしさに、ほっとします。

Q：佐賀市のこうなったらいいなあというところは？

A：障がい当事者と出会い、心が揺さぶられる。心のバリアフリー教育が進んでほしい。

Q：「議会だより」読んでますか？

A：はい

Q：佐賀市議会に対する5段階評価は？



期待を込めて！

本会議のテレビ放映・動画配信



本会議をぶんぶんテレビで生放送しています（開会中10時から最長17時まで）。ホームページの「議会中継」をご覧ください。

また、本会議の動画配信や議事録検索、市議会議員名簿などをホームページに掲載しています。



問い合わせ（議会事務局）電話40-7310 FAX 25-5407 E-mail:gikai@city.saga.lg.jp

編集後記

一般質問は、議員個人が市政全般にわたり執行機関に対して質問するものですが、本市での登壇議員数は毎回約30人です。これは全国トップクラスだと言われています。とりわけ、今最も関心のある次期市長選挙に秀島市長は不出馬を表明されました。さて、次のか

じ取り役はどんな行政手腕を発揮されるか是非々々で臨みたいと思います。また、近年の投票率の低下は深刻です。例年開催している「議会報告会」は報告よりも意見交換に軸を置いたものになります。皆様の声が市政発展に直結します。是非、忌憚のないご意見をお願いしたくお誘いあわせの上お出掛けください。

(平原嘉徳)

私が書きました!!

～表紙題字の作者紹介～



佐賀北高等学校
芸術科書道専攻3年
いのうえ
井上 りこさん

【将来の夢】

生徒の気持ちに寄り添うことのできる教師になりたい。

【題字】

力強くもしなやかな線を引き、全体の雰囲気が出っさりとなるように意識しました。